

～毎日、 コツコツと歯みがきを続ける大切さ～

社会福祉法人国立市社会福祉協議会 国立市障害者センター 生活介護 あさがお 国立市

【施設の紹介】



国立市障害者センター生活介護あさがおは、1984（昭和59）年に知的障害者通所更生施設として設立。2006（平成18）年9月より指定管理者となり、2012（平成24）年4月から生活介護事業者として新たなスタートをきりました。

【利用者の状況】

現在は33名の方が通所しており、20歳から50歳まで幅広い年齢の方が通っています。（2017年4月1日現在、平均年齢36.7歳）

【手帳種別】

愛の手帳 (療育手帳)	1度	2度	3度～	計
	2	30	1	33
身障手帳	1級	2級	3級～	
肢体不自由	5	2	1	8
視覚障害	1	0	0	1
聴覚障害	0	0	1	1
内部障害	1	0	2	3
てんかん			13	13
自閉症(診断)			3	3

※自閉傾向のある利用者は更に多い。

【障害程度区分】

	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	17	5	1	0	23
女	9	1	0	0	10
計	26	6	1	0	33

※生活介護は区分3以上の方が対象。

【歯科衛生の取組】 *年間の取組

〈歯科健診〉

年1回、定期的な口腔の管理を歯科医師会とともに継続して実施しています。担当医が施設で行った健診結果を各家庭やグループホームに通知し、通院などにつながるよう促しています。

〈ブラッシング指導〉

年8回、その他に職員向けに年1回実施。

国立市歯科医師会の歯科衛生士による職員への歯みがき指導や実際に利用者への歯みがきを行います。また、紙芝居やエプロンシアター等を活用して利用者へ働きかけています。



〈職員向け研修会〉

年1回、歯科健診の結果報告と職員間で情報共有を図る重要な場となっています。歯科医師の講義の後、染め出しを行い、歯科衛生士から丁寧な歯みがき方法を学びます。

*日々の取組

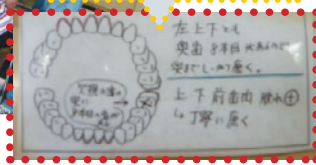
〈歯みがき〉

毎日昼食後に励行。全利用者に対して行っています。利用者が自分で歯みがきをする場合もありますが、仕上げは必ず職員が行います。

また、どの職員が担当しても同じケアを実践できるよう歯みがきの注意点を書いた歯みがきカードを活用しています。口腔の状況が変わればそれに合わせてカードの内容を更新します。



歯みがきカード (△▽△)/
誰でも同じにケアできる



【ケア用具の管理】

利用者は3グループに分かれて活動するため、グループごとに歯ブラシとコップをまとめて、取り出しやすくしています。また、歯ブラシとコップは記名し間違えないよう注意しています。



〈歯ブラシ〉

利用者の状況に合わせて複数用意しています。歯ブラシの硬さはソフト、スーパーソフト等があり、歯間ブラシやスポンジブラシなども使用しています。歯ブラシは月に1回、交換します（スポンジブラシは適宜交換）。歯ブラシの消毒はしていませんが、歯みがき後丁寧に水洗いし、ブラシ部分を上にして乾燥を徹底しています。



〈コップ〉

使用後は毎日洗浄し、週1回ミルトンで消毒します。コップの消毒及び歯ブラシ交換については、実施する曜日を決めています（例えば毎週木曜日に消毒、毎月最終木曜日には歯ブラシ交換）。そうすることで、消毒や交換忘れを防げます。

【現状と今後の課題】

毎年歯科健診を行うとともに、定期的に歯科衛生士から歯みがき指導を受けることによって、確実に口腔内の清潔が保てるようになってきました。また、職員の歯みがき技術の向上を感じます。その結果、数年前と比べて歯の汚れなどを指摘される方が少なくなってきました。

【H 20 年 28 人受診】 【H 26 年 29 人受診】

◇要治療 15 人 → ◇要治療 8 人
◇口腔きれい 13 人 → ◇口腔きれい 25 人

施設での取組をとおして、家庭に口腔の状況を知らせることで、これまで歯科通院できなかった利用者が通院につながることも増えました。その点においても、日々の歯みがきへの取組が実を結んできた成果と言えるでしょう。

最近の傾向としてはグループホームから通所する方が増えており、グループホームとの連携が重要となっています。

また、利用者の中には、長年の服薬や元々の障害によって歯の質に問題がある方がいます。

年齢とともに歯が抜けてしまう傾向はありますが、特に一部のダウン症の方で、歯みがきをしていても口腔内の維持が難しいことがあり、今後の取組の課題となっています。

幾つかの課題として、

- ◇歯科通院の遅れ
- ◇長期間の歯科治療が困難
- ◇義歯が作れても違和感から装着が難しい
- ◇利用者本人は“歯がない”現状に困っていない
- ◇歯ぎしりによる咬耗 ect

などに日々直面しています。

加齢に伴う様々な現象（歯ぐきの衰え等）を、どう予防し、どのように現状を維持できるようにしていくのか。歯科専門職種と協働しながら今後もコツコツと歯科衛生の取組を続けていきたいと思えます。

（記事作成：東京都多摩立川保健所）